

三沢市立三沢病院での内科実習を終えて

弘前大学医学部医学科 5 年 柿沼 諄

初めまして。弘前大学医学部医学科 5 年の柿沼諄と申します。2 月 17 日から 2 月 28 日の 2 週間、消化器内科の荒木先生のご指導の下、お世話になりました。この 2 週間、大学病院では学びきれなかった多くのことを体験することができたため、実習生日記として綴りたいと思います。

まず、三沢市立三沢病院に来て一番驚いたことは、先生方と多職種の医療関係者の方々の距離の近さです。荒木先生を始めとして、他の先生方や看護師、検査技師などが密なコミュニケーションを取りながら朝夕回診や外来、検査を行っていました。また、時に冗談を言い合いながら雑談をしている場面もあり、その雰囲気は一学生に過ぎない私も混ぜていただきました。この距離の近さが、三沢市立三沢病院の一つの大きな特長であり、三沢市を始めとした地域の医療を築き上げているのだと実感しました。私自身、その雰囲気の良さも相まって、毎日実習に行く楽しさが生まれました。荒木先生自身も、多職種の方々の雰囲気の良さに関して、毎日感謝の言葉を申し上げており、現在最重要視されているチーム医療とは、このような現場の雰囲気があってこそだと深く実感しました。



また、外来や検査の見学では、大学病院では見ることでできなかった様々な症例を見ることができました。消化器のなかでも、食道から直腸まで幅広い疾患を見ることができ、今まで机上でしか学ぶことができなかった疾患を、実際の目で異常を捉えることができ、また今後の治療方針まで確かめることができました。このような一連の流れを、2 週間を通して勉強することができ、大変貴重な勉強の機会になったと感じます。

最後に、マンツーマンでご指導いただいた荒木先生には、私がどんなに知識不足でも寄り添っていただきました。特に初めて見る下部内視鏡では病変部だけではなく、カメラの位置まで詳しく教えていただき、違いが分かるようになりました。また外来では、患者のキャラクターを把握し、それに合わせてひとりひとりコミュニケーションの取り方を変えており、その熟練の接し方を見て、私の将来の医師像がより明確になりました。改めて医療現場が良好なコミュニケーションなしでは成り立たないことを実感しました。

2 週間の実習でしたが、消化器内科の先生方はもちろんのこと、消化器外科の先生方にもご飯に連れて行っていただくなど、本当にたくさんの先生方や医療スタッフの方々にお世話になり、充実した期間を過ごすことができました。また関わる機会がありましたらどうぞよろしくお願いいたします。本当にありがとうございました。

実習期間：2025.2.17~2025.2.28